

いつも市民の暮らしの応援者としてあゆむ 日本共産党の森川ヤスエです。



わが家の平和宣言の前で

みなさんとともに 実現できたこと

- 県下一高い国保税の値下げや減収による減免制度の創設。
- 乳幼児医療費の就学前まで入院時無料。
- 嘱託職員の待遇一部改善。
- 少人数学級の体制維持。
- 三重県解放保育研究会から脱退。
- 長良川河口堰からの導水ストップ。
- 短すぎる通学路信号の改善。
- 河曲小学校学区学童保育所2007年開所など。
- 役割を終えた勤労青少年ホームを子育てひろばに再利用。



地元神戸老人会新年会にて



安全安心フェスタで
総務委員長挨拶



総務委員会視察で
AED体験



シャープ工場見学



視察先で



子育て支援に利用可能になった勤労青少年ホーム



移転予定の神戸中学校。移転後は複合施設にしてはと質問



ハートフル会場で高齢者体験

市民の暮らしを応援したいと市民の声を届けて「女性は太陽」で報告



「女性は太陽」を配って12年

しながら議会活動を頑張ってきました。この4年間は市民との2人3脚で国保税の引き下げや介護認定者の障害者控除基準を作成させるなど、市政を動かしたこともいくつかありました。

このような仕事は議員の質問時間の保障があつてこそ出来ることです。今年から1回15分も質問時間が削られてしまい大変困っています。時間を元に戻してもらおう努力とともに今後も、少ない時間でも精一杯み

みなさんのご支持で三期十二年

みなさんの声を届けて、暮らしを応援する市政を目指したいと思っています。

小泉・安倍内閣の政治は国民に大きな所得格差を広げ、さらに自民党・公明党が改悪した医療・介護・障害者自立支援法などの負担増が市民の暮らしを苦しめています。法が実施されてすぐに、七〇歳を過ぎたおばあちゃんが「障害のある子どもの施設費などが急に高くなって払えない」と負担に耐えかねて、遠いところを自転車で議会へ尋ねてきました。これからさらに後期高齢者医療保険まで創設され、月額六千円近い保険料が課せられ、暮らしは見通しが立たなくなりそうです。



イラクへの自衛隊
派兵反対ピースウォーク



災害時には頼りになる日本共産党

日本共産党は、災害復旧から生活再建までいつも国民とともに活動を行っています。それは全国津々浦々にまで支部を持ち、また活動する地方議員がいるからです。三重県でも海山町の水害被害への応援活動に生かされました。鈴鹿市からも多くの市民のご協力を受けて、支援物資を届けることが出来ました。

東京都などではすでに学級評価制度などを持ち込んで、学校教育予算に差をつけるなど、憲法が保障する教育の平等を投げ捨て、教育にまで格差社会を持ち込もうとしています。そんなときだからこそ、市民の暮らしの声や子どもたちの「心」に寄り添った声を届ける仕事が出来ると強く思います。

みなさん、暮らし向きは いかがでしょうか？

私は何より戦争を憎みます。人の命を傷つけ奪うものは生理的に許せないのです。だから平和を何より大事に思い、憲法や教育基本法を大切に守りたいのです。平和を愛するみなさんの思いを届ける仕事も全力で頑張りたいと思います。